

大野台フェスティバル87



ハイランドフェスティバル87が、六月七日、大野台ハイランド野外ステージで開かれました。町内の青年サークルの皆さん、県北各地の音楽仲間に呼びかけたもので、九グループが出演し、三百人以上の観客といつしょになつて自然の中の音楽を楽しみました。

フェスティバルにおいて、どのグループも、たっぷりと練習を重ねた様子で、それに仲間の意気もびつたり。広場いっぱいに音を響かせて若さを発散させていました。この日は好天に恵まれて、広場では、木かげで憩う家族づれなどで大にぎわい。それに友だちの出演などに声援をあげていました。

練習を重ねた様子で、それに仲間の意気もびつたり。広場いっぱいに音を響かせて若さを発散させていました。この日は好天に恵まれて、広場では、木かげで憩う家族づれなどで大にぎわい。それに友だちの出演などに声援をあげていました。

広報 あいかわ

'87/6

350号

今月の紙面から

- 2面 国際交流・研修生来町
合川東小学校教育参考林
松ヶ丘グランド植樹
- 3面 町民所得推計

今年度、国では、航空測量を主体に、土地利用計画を策定するため調査を実施。『原図』の作成などを行うことになります。

開始式典は、国・県の関係者、受益年度関係者など二百人余りが出席して、農村勤労者福祉センターで開かれました。畠山町長（事業促進協議会長）が「若者たちの強い意欲に対応できる開発に、一層の協力を」と呼びかけ、東北農政局計画部長杉浦英明氏が「受益者の要望を聞きながら、地域の発展に役立つ開発を実現したい」とあいさつ。雄物川水系調査事務所長石学友衛氏が、これまでの経過説明を行いました。

秋田県農政部長 高松芳晴
氏と地元町の関係者の「大野台農地開発は活力ある地域づくりのためにひひ必要で、最大の好期」と熱意あふれるあいさつが続きました。

ふるさとのまごころ
おくります

合川ふるさと会員募集中

▽年会費 一万円
△申込は役場町おこし対策室へ。

大野台農業の「夢」に第一歩 国営開発の調査開始式

大野台国営農地開発事業の国の調査活動が、六月下旬から着手されることになり、五月二十日、調査開始式典が行われました。

大野台の農地開発について

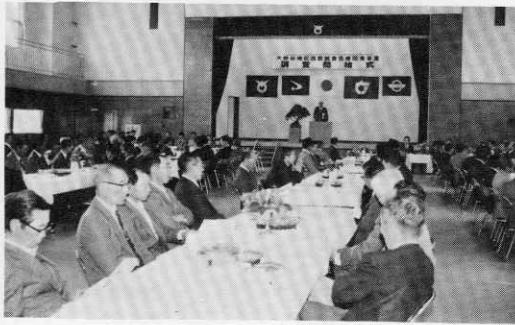
は過去に開畠・開田の大規模計画がありました。今計画では阿仁川ダムから取水を計画。高速道路網の整備や、観光リゾート構想の具体化とあわせて、有利な条件での開発が待望されています。

今年度、国では、航空測量を主体に、土地利用計画を策定するため調査を実施。『原図』の作成などを行うことになります。

开始式典は、国・県の関係者、受益年度関係者など二百人余りが出席して、農村勤労者福祉センターで開かれました。畠山町長（事業促進協議会長）が「若者たちの強い意欲に対応できる開発に、一層の協力を」と呼びかけ、東北農政局計画部長杉浦英明氏が「受益者の要望を聞きながら、地域の発展に役立つ開発を実現したい」とあいさつ。雄物川水系調査事務所長石学友衛氏が、これまでの経過説明を行いました。

66年度着工めざし
調査は三力年

昭和62年(1987年) 6月20日 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186(78)2100



わたしたちの町

人口(男).....	4,465人
(女).....	4,779人
計.....	9,244人
5月中の転入.....	45人
転出.....	14人
世帯数.....	2,297世帯

(5月末日住民登録人口調べ)

(義)

社会構想が確実に変化する中で、農山村が孤立しないため、新しい社会体制をつくることに逡巡(しゆんじゆん)してはならない。

社会構想が確実に変化する中で、農山村が孤立しないため、新しい社会体制をつくることに逡巡(しゆんじゆん)してはならない。

六月七日(日)、県北の青年たちの野外音楽祭が、ハイランド野外ステージで催され、三百人程の若者が集つた。

町長日記から



▲パーティでは、いつしょに歌をうたったり、楽しい交流。お酒を全く口にしなくとも、とても陽気な皆さんでした。



「日本の農家を見たいー」との希望が実現。牛舎と住居をすみずみまで見せてもらいました。（弥栄・中島弘治さん宅で）

◀「私たちは豚肉は食べません。」「はしの使い方は難しいですね。」などやかな会話から、国際理解が一步前進。

町が要望していた海外研修生との交流が、今後定期的に行われることになり、その第一陣として、六月九、十日、マレー・シアの技術研修生二十名が来町しました。

一行は合川高校、一般農家を訪問。大野台工業団場では二社を視察。農村環境改善センターで、町内青年との交流を行いました。

研修生の皆さんは、日本語を事前に学習しておられ、お互いの生活ぶりなどを話し合い、案内にあたられた財団法人海外技術者研修協会の高秉澤氏は交流のあいさつで「同じ地球村民。心を開いて学びあいましょう。」と呼びかけ、短い時間の交流でしたが、文通や再会を約束しあつた人もおり、深い友情が生まれていました。

あなたもわたしも 地球村民

国際交流第1陣にマレーシアから



▲合川高校では、各授業を参観。生徒のノートを見せてもらったりして興味深げ（電算実習室で）。このあと高校生と話し合いを行いました。



◆専門が電気技術関係の研修生であり、工業団地の視察は、特に真剣な表情が印象的

町の分譲宅地・松中には多目的グランドがあり、六月十三日、合川中学校生徒による記念植樹式が行われました。多目的グランド、野球、ソフトボール、ボールなど、多種競技に利用できるほか、松ヶ丘の人たちや町民の憩いの広場。記念植樹は、若葉、花、紅葉など四季を通じて楽しめるようにと、七種類の樹を組み合わせて配置しました。

中学生の中には、始めて松ヶ丘を訪れた人も多く、その広



育てよう私たちの町

合川中学校・松ヶ丘グランド 植樹

さと環境の良さにびっくり。「発展する町勢の中で、私たちの木が大きく育つようにならねいな作業に汗を流していました。

ボールなど、多種競技に利用できるほか、松ヶ丘の人たちや町民の憩いの広場。記念植樹は、若葉、花、紅葉など四季を通じて楽しめるようになると、七種類の樹を組み合わせて配置しました。



育参考林
れ六月六
行われま
昭和六十
久に切ら
れており、自然観察やナベツ
コ遠足には絶好の場所である
ことから「みんなの公園とし
て、大人になつた時にも、自慢
できる公園にしたい。」と話し
合われていました。

お出かけ前に交通情報

下記のラジオ番組などで「道路交通情報」を提供しています。ご利用のうえ、交通事故防止に努めて下さい。

- ▶月～金曜日＝エフエム秋田 8：11～8：13、A B S 秋田放送10：25～10：30、14：45～14：50、17：20～17：25
 - ▶月～土曜日＝N H K（第1・F M）11：55～11：58
 - ▶土曜日＝A B S 秋田放送 9：35～9：40、13：20～13：25

*お出かけ前には交通情報を聞いて安全運転、☎0188-62-7744

合川町の子育てを語るつどい

のびのびあそび、心豊かな子どもに育てるには、どうしたらよいのか。親はどうあればよいか、のぞましい園のくらしはどうあればよいか、もう一度考えてみましょう。

- ▼期 日 6月28日(日)午後1時より受付
▼場 所 合川町農村環境改善センター
▼講 演 講師 オリブ園副園長 金田 昭三先生

